

中央区環境行動計画事業等の推進状況
(計画期間 平成20年度から平成29年度までの10年間)

資料 1

環境行動計画事業	70件	うち事業化	67件	着手率	95.7%
うち計画外事業	31件	うち事業化	31件	着手率	100.0%

1 地球環境 —地球温暖化対策が進んでいるまちをつくります—

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況				掲載頁	基本計画
					平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度目標(当初見込)	平成26年度見込		
1	事業所向け二酸化炭素排出抑制システムの普及 事業所におけるCO2の排出抑制を進めるため、特に中小規模の事業者が取り組みやすいシステムを作成し、運用を支援する。 (平成23年7月愛称名決定「中央エコアクト」) (環境推進課 温暖化対策推進係)	◎	運用開始2009(平成21)年度システムの認証530社 (—)	○	<ul style="list-style-type: none"> 申請件数 11件 累計 68件 認証件数 10件 累計 56件 10.6% 更新件数 7件 累計 9件 	<ul style="list-style-type: none"> 申請件数 6件 累計 74件 認証件数 6件 累計 62件 11.7% 更新件数 11件 累計 20件 	予算額【1,084千円】 <ul style="list-style-type: none"> 申請件数 20件 累計 94件 認証件数 15件 累計 77件 14.5% 更新件数 14件 累計 34件 (6月10日現在) <ul style="list-style-type: none"> 申請件数 3件 累計 77件 認証件数 1件 累計 63件 11.9% 更新件数 0件 累計 20件 	予算額【1,084千円】 <ul style="list-style-type: none"> 申請件数 15件 累計 89件 認証件数 10件 累計 72件 13.6% 更新件数 10件 累計 30件 (10月31日現在) <ul style="list-style-type: none"> 申請件数 7件 累計 81件 認証件数 4件 累計 66件 12.5% 更新件数 2件 累計 22件 	30頁	○
2	家庭向け二酸化炭素排出抑制システムの普及 家庭におけるCO2の排出抑制を進めるため、子どもでも取り組めるシステムを作成し、普及を図る。 (平成23年4月から取り組み期間、記録方法を改正し、7月に愛称名決定「中央エコアクト」) (環境推進課 温暖化対策推進係)	◎	運用開始2009(平成21)年度システムへの参加600世帯 (—)	○	<ul style="list-style-type: none"> 参加世帯数 211件 累計 429件 71.5% 認証世帯数 98件 累計 163件 	<ul style="list-style-type: none"> 参加世帯数 63件 累計 492件 82% 認証世帯数 26件 累計 189件 	予算額【175千円】 <ul style="list-style-type: none"> 参加世帯数 108件 累計 600件 100% 認証世帯数 2件 累計 191件 (6月10日現在) <ul style="list-style-type: none"> 参加世帯数 14件 累計 506件 84.3% 認証世帯数 2件 累計 191件 	予算額【175千円】 <ul style="list-style-type: none"> 参加世帯数 74件 累計 566件 94.3% 認証世帯数 12件 累計 201件 (10月31日現在) <ul style="list-style-type: none"> 参加世帯数 44件 累計 536件 89.3% 認証世帯数 12件 累計 201件 	30頁	○
3	新築・改修建物の省エネルギー化の推進 設備、構造自体の省エネルギー化を促進するため、事業者「環境計画書」の提出を義務付けることを検討する。(市街地開発事業指図書に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導している。) (環境推進課 温暖化対策推進係)	◎	推進 (71件)	○	環境計画書提出 件数 111件 累計 602件	環境計画書提出 件数 142件 累計 744件	環境計画書提出 件数 150件 累計 894件 (6月30日現在) 件数 8件 累計 752件	環境計画書提出 件数 75件 累計 819件 (10月31日現在) 件数 37件 累計 781件	30頁	
4	既存建物の省エネルギー化の促進 床面積1,000㎡以上の建物(約2,700件)に対して、エネルギー使用量等の調査を行い、設備の更新による省エネルギー化の促進を検討する。(関連事業 東京都省エネルギー診断) (環境推進課 温暖化対策推進係)				省エネルギー診断受診事業所数 件数 8件 累計 39件	省エネルギー診断受診事業所数 件数 5件 累計 44件	省エネルギー診断受診事業所数 件数 12件 累計 56件 (6月10日現在) 件数 1件 累計 45件	省エネルギー診断受診事業所数 件数 12件 累計 56件 (10月31日現在) 件数 5件 累計 49件	31頁	
5	区施設の利用に伴うカーボンオフセットの導入 区民・事業者が区の施設を使用する場合に発生する二酸化炭素をオフセットするための仕組みを検討する。 (環境政策課 環境計画調整係)				—	他区の事例等を研究した。	他区の事例等を研究する。	他区の事例等を研究する。	31頁	
6	事業活動等におけるカーボンオフセットの導入 日常生活や事業活動で排出するCO2を区民・事業者が自らオフセットする仕組みを検討する。 (環境政策課 環境計画調整係)				東京都が実施もしくは検討している仕組みなどを研究した。	東京都が実施もしくは検討している仕組みなどを研究した。	東京都が実施もしくは検討している仕組みなどを研究する。	東京都が実施もしくは検討している仕組みなどを研究する。	31頁	

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況				掲載頁	基本計画
						平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度目標(当初見込)	平成26年度見込		
7-1	省エネルギー機器・設備の利用拡大	家庭や事業所において、耐用年数を超えた機器・設備等の更新時に、最新の省エネルギー機器の選択を促進する。 (環境推進課 温暖化対策推進係)		推進 (一)	○	・助成交付件数 204件 24,159,000円	・助成交付件数 126件 22,664,000円	予算額【26,260千円】 (予算額には1-8自然エネルギーの活用を含む) ・助成決定件数 134件 24,553,000円 (6月10日現在) ・助成決定件数 20件 3,593,000円	予算額【26,260千円】 (予算額には1-8自然エネルギーの活用を含む) ・助成決定件数 110件 20,517,000円 (10月31日現在) ・助成決定件数 65件 11,917,000円	45頁	○
7-2		区施設における自然エネルギー設備の設置 (環境推進課 温暖化対策推進係)		推進 (一)	○	太陽光発電設備 5施設 累計 16施設 風力発電設備 3施設 累計 5施設	太陽光発電設備 - 累計 16施設 風力発電設備 - 累計 5施設	太陽光発電設備 3施設 ・十思スクエア別館 ・明正小学校 ・マイホームはるみ 累計 19施設 風力発電設備 - 累計 5施設	太陽光発電設備 3施設 ・十思スクエア別館 ・明正小学校 ・マイホームはるみ 累計 19施設 風力発電設備 - 累計 5施設	計画外	○
8	自然エネルギーの活用	家庭や事業所に太陽光発電などを普及させる仕組みをつくる。 (環境推進課 温暖化対策推進係)		推進 (一)	○	・助成交付件数 7件 2,380,000円 累計 21件 6,981,000円	・助成交付件数 2件 728,000円 累計 23件 7,709,000円	(予算は、1-7省エネルギー機器・設備の利用拡大に合算計上) ・助成決定件数 4件 1,599,000円 累計 27件 9,308,000円	(予算は、1-7省エネルギー機器・設備の利用拡大に合算計上) ・助成決定件数 2件 670,000円 累計 25件 8,379,000円	46頁	○
9	省エネルギー行動の推進	節電や節水等、日常生活における省エネルギー行動の普及・啓発に努める。 (環境推進課 環境活動係)		推進 (推進)	○	・環境パネル展 6月1日から15日まで 区役所 ほっとプラザはるみ 6月12日から21日まで 日本橋区民センター ほっとプラザはるみ 6月22日から6月30日まで 環境情報センター ・環境作品コンクール ・環境情報誌発行 6月30日発行 12月5日発行	・環境パネル展 5月31日から11日まで 区役所 月島区民センター 6月12日から21日まで 日本橋区民センター ほっとプラザはるみ 6月22日から6月30日まで 環境情報センター ・環境作品コンクール ・環境情報誌発行 6月29日発行 12月15日発行	予算額【2,797千円】 ・環境パネル展 6月1日から10日まで 区役所 月島区民センター 6月11日から20日まで 日本橋区民センター ほっとプラザはるみ 6月21日から6月30日まで 環境情報センター ・環境作品コンクール ・環境情報誌発行 6月28日発行 12月上旬発行予定	予算額【2,807千円】 ・環境パネル展 6月1日から10日まで 区役所 月島区民センター 6月11日から20日まで 日本橋区民センター ほっとプラザはるみ 6月21日から6月30日まで 環境情報センター ・環境作品コンクール ・環境情報誌発行 6月28日発行 12月10日発行	45頁	
10	3Rの普及	省資源の推進に向けて、ごみの発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、資源の再生利用(リサイクル)の3Rの普及を図るとともに、特にごみの発生抑制が重要であることを積極的に周知する。 (環境推進課 環境活動係)		推進 (推進)	○	・親子施設見学会 8月9日実施 参加者 33人 ・一般向け施設見学会 10月23日実施 参加者 19人	・親子施設見学会 8月7日実施 参加者 36人 ・一般向け施設見学会 10月24日実施 参加者 30人	・親子施設見学会 8月6日実施 参加者 40人 ・一般向け施設見学会 10月下旬実施 参加者 40人	・親子施設見学会 8月6日実施 参加者 22人 ・一般向け施設見学会 10月28日実施 参加者 27人	46頁	
11	資源回収品目の拡大	リサイクルを推進するため、容器包装リサイクル法に基づくプラスチックを回収し、あわせてリサイクル品目を拡大する。 (中央清掃事務所 清掃事業係)		14品目 (11品目: 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロール、乾電池、ペットボトル、びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、蛍光管、金属製なべ・やかん、フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベ、インカートリッジ)		16品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロール、乾電池、ペットボトル、びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、蛍光管、金属製なべ・やかん、フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベ、インカートリッジ	16品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロール、乾電池、ペットボトル、びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、蛍光管、金属製なべ・やかん、フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベ、インカートリッジ	16品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロール、乾電池、ペットボトル、びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、蛍光管、金属製なべ・やかん、フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベ、インカートリッジ ※4月から毎週土曜日に区内全小学校、銀座中学校および日本橋中学校の18か所を拠点として、小型家電の回収を開始した。 小型家電12品目 (携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルナビ、電子辞書、卓上計算機、ACアダプター、タブレット端末、ICレコーダー、USBメモリー・メモリーカード) ※小学校等での回収のほか、区が収集した粗大ごみからリサイクル可能な小型家電の回収も行っている。 粗大ごみ中継所での回収3品目 DVDプレーヤー、炊飯器、電子レンジ	16品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロール、乾電池、ペットボトル、びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、蛍光管、金属製なべ・やかん、フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベ、インカートリッジ ※4月から毎週土曜日に区内全小学校、銀座中学校および日本橋中学校の18か所を拠点として、小型家電の回収を開始した。 小型家電12品目 (携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルナビ、電子辞書、卓上計算機、ACアダプター、タブレット端末、ICレコーダー、USBメモリー・メモリーカード) ※小学校等での回収のほか、区が収集した粗大ごみからリサイクル可能な小型家電の回収も行っている。 粗大ごみ中継所での回収3品目 DVDプレーヤー、炊飯器、電子レンジ	46頁	○

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況				掲載頁	基本計画
					平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度目標(当初見込)	平成26年度見込		
12	エコスクールの推進	校舎等の改築や改修にあわせ、CO2の排出量が少ない効率的機器・システムの導入や自然エネルギーの活用、緑化を進め、環境への負荷を低減するとともに、児童・生徒の環境教育に活用していく。 (校庭の緑化や風の道、蝶の道プロジェクトなど昆虫や自然も意識した事業) (教育委員会庶務課 学校施設係)	推進 (一)	○	・銀座中学校屋上緑化 芝生 126㎡ 花壇等 94㎡ ・久松小学校屋上ピオトープ 29㎡ ・有馬小学校緑のカーテン 30㎡	・有馬小学校緑のカーテン 70㎡	予算額【399千円】 ・有馬小学校緑のカーテン 78㎡	予算額【399千円】 ・有馬小学校緑のカーテン 78㎡	47頁	
13	環境学習の推進	幼児・児童等を対象として、「ごみの発生抑制」「ごみの分別と正しい出し方」など、ごみを通して環境に関する理解を深める。 (中央清掃事務所 清掃事業係・作業係)	・幼稚園 16回/年(5回/年) ・小学校 16回/年(3回/年) ・保育園等 8回/年(一)	○	・幼稚園 6回/年 ・小学校 4回/年 ・保育園等 0回/年	・幼稚園 6回/年 ・小学校 3回/年 ・保育園等 0回/年	(6月27日現在) ・幼稚園 5回 ・小学校 1回 ・保育園等 0回	(11月25日現在) ・幼稚園 7回 ・小学校 4回 ・保育園等 5回	47頁	○
14	家庭の省エネ「見える化」の推進	中央区版二酸化炭素排出抑制システムの参加家庭を対象に省エネナビの貸し出しを行う。 ※省エネナビ 電力使用量、二酸化炭素や熱量、電気料金をリアルタイムに表示し、設定した目標数値をオーバーするとランプの色で警告する機器。 (環境推進課 温暖化対策推進係)		○	・貸与申込件数 56件	・貸与申込件数 18件	予算額【1,296千円】 ・貸与予定件数 60件 (6月10日現在) ・貸与申込件数 3件	予算額【1,296千円】 ・貸与予定件数 12件 (10月31日現在) ・貸与申込件数 7件	計画外	
15	未利用エネルギーに関する調査	地域がもっている潜在的な資源などを活用し、より優れたエネルギーシステム構築に向けた採算可能性やその実現のための課題解決の方策等について調査を実施する。 (環境政策課 環境計画調整係)		○	・庁内ワーキングの開催 第1回 平成24年 7月開催 第2回 平成24年10月開催 第3回 平成24年12月開催 第4回 平成25年 2月開催 ・庁内ワーキングを経て、晴海地区の未利用エネルギーについて、需要先、エネルギー創出方法、行政関与を検討し、経済性や事業推進課題等を整理した。(調査終了)	中央清掃工場の排熱がオリンピック選手村に導入されるよう、東京都に働きかけを行った。	中央清掃工場の排熱がオリンピック選手村に導入されるよう、東京都や東京二十三区清掃一部事務組合など関係機関との協議・調整を行う。	中央清掃工場の排熱がオリンピック選手村に導入されるよう、東京都や東京二十三区清掃一部事務組合など関係機関との協議・調整を行う。	計画外	
16	協働提案事業	社会貢献活動団体と区が公共的な課題解決に取り組むため、協働提案事業として採択された事業を実施する。 (教育委員会指導室 事業係)		○	銀座ミツバチプロジェクト出前授業 実施校 小学校4校 幼稚園7園(各校園とも1回) 実施日 9月～3月 参加者 650名	—	—	—	計画外	
		(環境推進課 環境活動係)		○	檜原村で中央区のふるさと大発見 対象 区内在住在学の小学生とその保護者 実施日 7月26日 参加者 33名	—	予算額【791千円】 檜原村紹介事業 ～檜原村で知る、見る、体験ツアー～ ・協働団体 中央区森の応援団 ・対象 団体、事業者等の旅行企画担当者 ・実施日 平成26年11月9日 ・参加者 35人	予算額【791千円】 檜原村紹介事業 ～檜原村で知る、見る、視察ツアー～ ・協働団体 中央区森の応援団 ・対象 団体、事業者等の旅行企画担当者 ・実施日 平成26年11月9日 ・参加者 30人	計画外	
17	公園灯のLED化	区立公園内照明の消費電力削減による環境負荷の低減および照明器具の長寿命化による維持管理経費の削減を図るため、公園の改修などに合わせて、照明器具をLED化する。 (水とみどりの課 公園河川係)		○	・石川島公園(ポール25基) ・晴海臨海公園(ソーラー灯1基) ・築地川公園(投光器10基) ・鉄砲洲児童公園(フットライト11基) ・明石町河岸公園(ポール3基、ソーラー灯1基) ・箱崎川第二公園(ポール2基) ・豊海運動公園(投光器4基) ・桜川屋上公園(投光器6基) 整備 ポール 30基 フットライト 11基 投光器 20基 ソーラー灯 2基 計 63基 累計 ポール 50基 フットライト 22基 投光器 21基 ソーラー灯 6基 計 99基	・黎明橋公園(ポール12基、フットライト10基、ソーラー灯2基) ・あかつき公園(ソーラー灯1基) ・弾正橋北東児童遊園(ポール1基) ・月島三丁目児童遊園(ポール3基) ・石川島公園(ポール14基) ・はとば公園(ポール13基) 整備 ポール 43基 フットライト 10基 ソーラー灯 3基 計 56基 累計 ポール 93基 フットライト 32基 投光器 21基 ソーラー灯 9基 計 155基	・月島三丁目児童遊園(ポール2基) ・十思公園(ポール7基、ソーラー灯1基) ・石川島公園(ポール17基) ・常盤公園(ポール4基) 整備 ポール 30基 ソーラー灯 1基 計 31基 累計 ポール 123基 フットライト 32基 投光器 21基 ソーラー灯 10基 計 186基 (参考)公園灯の総基数 988基	・月島三丁目児童遊園(ポール2基) ・十思公園(ポール7基、ソーラー灯1基) ・石川島公園(ポール17基) ・常盤公園(ポール4基) 整備 ポール 30基 ソーラー灯 1基 計 31基 累計 ポール 123基 フットライト 32基 投光器 21基 ソーラー灯 10基 計 186基 (参考)公園灯の総基数 988基	計画外	

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況				掲載頁	基本計画
						平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度目標(当初見込)	平成26年度見込		
18	清掃事業の普及・啓発	『「資源」と「ごみ」の正しい分け方・出し方』の内容を見直し、写真やイラストを増やすとともに、ごみや資源の処理の流れ等について掲載するわかりやすい冊子を作成する。 (中央清掃事務所 清掃事業係)			○	・「ごみと資源の分け方・出し方」により、正しい分別・排出方法の周知徹底を図った。 ・清掃・リサイクルハンドブック(小学生向け・一般向け)により、環境意識の普及啓発を図った。	・「ごみと資源の分け方・出し方」の改訂版(隔年)を作成し、区内全戸配布を行い、正しい分別・排出方法の周知徹底を図った。 ・清掃・リサイクルハンドブック(小学生向け・一般向け)により、環境意識の普及啓発を図った。	・「ごみと資源の分け方・出し方」により、正しい分別・排出方法の周知徹底を図る。 ・清掃・リサイクルハンドブック(小学生向け・一般向け)により、環境意識の普及啓発を図る。	・「ごみと資源の分け方・出し方」により、正しい分別・排出方法の周知徹底を図る。 ・清掃・リサイクルハンドブック(小学生向け・一般向け)により、環境意識の普及啓発を図る。	計 画 外	
		(中央清掃事務所 作業係・晴海事業所)				・清掃・リサイクル事業の普及・啓発を図るため、環境ポスター貼付を区直営車および委託車等で行った。 直営車 9台 委託車 7台 雇上車 14台(環境標語)	・清掃・リサイクル事業の普及・啓発を図るため、環境ポスター貼付を区直営車および委託車等で行った。 直営車 9台 委託車 7台 雇上車 13台(環境標語) ※雇上車 25年度契約1台減	・清掃・リサイクル事業の普及・啓発を図るため、環境ポスター貼付を区直営車および委託車等で行う。 直営車 9台 委託車 7台 雇上車 13台(環境標語)	・清掃・リサイクル事業の普及・啓発を図るため、環境ポスター貼付を区直営車および委託車等で行う。 直営車 9台 委託車 7台 雇上車 13台(環境標語)		
19	リサイクル事業の普及啓発	・エコまつりの開催 フリーマーケットと同時開催する。 (環境推進課 環境活動係)			○	・エコまつり・フリーマーケット同時開催 (6月3日) 会場 中央区保健所、あかつき公園 参加者数 約2,200人	・エコまつり・フリーマーケット同時開催 (6月9日) 会場 浜町公園 参加者数 約2,200人	・エコまつり・フリーマーケット同時開催 (6月1日) 会場 中央区保健所、あかつき公園 参加者数 約2,500人	・エコまつり・フリーマーケット同時開催 (6月1日) 会場 中央区保健所、あかつき公園 参加者数 約2,500人	計 画 外	
20	ほっとプラザはるみの屋上庭園を利用したリサイクル教室の実施	ほっとプラザはるみの屋上庭園や施設を利用してもらうことを目的として、庭園で栽培しているハーブなどを活用してリサイクル教室を実施する。 (環境推進課 環境活動係)			○	ハーブリサイクル教室 ・ラベンダースティックづくり 6月28日 ほっとプラザはるみ 参加者数 34人 ・クリスマスキャンドルアレンジづくり 12月7日 ほっとプラザはるみ 参加者数 31人	ハーブリサイクル教室 ・ラベンダースティックづくり 6月27日 ほっとプラザはるみ 参加者数 20人 ・クリスマスキャンドルアレンジづくり 12月18日 ほっとプラザはるみ 参加者数 33人	—	—	計 画 外	
21	中央区の森	東京都西多摩郡檜原村で森林保全活動を支援し、CO2の吸収源として重要な役割を担っている森林を守り・育てる。また、「中央区の森」を活用して区民・事業者の環境意識の普及・啓発を図る。 (環境推進課 環境活動係)	33.5ha (事業面積 3.5ha) ・新規作業面積 2.5ha	◎	○	森林保全 [数馬地区] ・対象面積 37.4ha ・新規作業面積 約2.3ha 累計 約20.3ha [南郷地区] ・対象面積 4.9ha ・新規作業面積 1.0ha ・体験ツアー 2回実施 55人参加 ・事業者・団体への活動助成 2件	森林保全 [数馬地区] ・対象面積 37.4ha ・新規作業面積 約2.0ha 累計 約23ha [南郷地区] ・対象面積 4.9ha ・新規作業面積 2.0ha 累計 3.0ha [数馬地区・南郷地区累計] 累計 約26ha ・体験ツアー 1回実施 31人参加 1回目 5月19日 31人参加 2回目 10月26日 荒天のため中止 ・親子自然体験ツアー実施 7月27日 32人参加 ・事業者・団体への活動助成 1件	森林保全 [数馬地区] ・対象面積 37.4ha ・新規作業面積 約2.0ha 累計 約26ha [南郷地区] ・対象面積 4.9ha ・新規作業面積 約0.5ha 累計 約3.5ha [数馬地区・南郷地区累計] 累計 約29.5ha ・体験ツアー 1回目 5月18日 32人参加 2回目 10月25日 35人参加 ・親子自然体験ツアー実施 7月26日 32人参加 ・事業者・団体への活動助成 4件	森林保全 [数馬地区] ・対象面積 37.4ha ・新規作業面積 約2.0ha 累計 約26ha [南郷地区] ・対象面積 4.9ha ・新規作業面積 約0.5ha 累計 約3.5ha [数馬地区・南郷地区累計] 累計 約29.5ha ・体験ツアー 1回目 5月18日 32人参加 2回目 10月25日 12人参加 ・親子自然体験ツアー実施 7月26日 32人参加 ・事業者・団体への活動助成 1件	30頁	○
22	「中央区の森」の環境ふれあい村構想の推進	森林保全活動を基軸として、本区と檜原村との交流を深めつつ、区民等が豊かな自然に触れる機会の拡大を図るために策定した「中央区の森環境ふれあい村構想」の推進を図る。 (環境推進課 環境活動係)			○	中央区の森環境ふれあい村推進協議会の開催 ・協議会開催 2回 (檜原村・中央区各1回) ・部会開催 6回 ・「中央区の森数馬地区ガイドマップの作成」	中央区の森環境ふれあい村推進協議会の開催 ・協議会開催 2回 (檜原村・中央区各1回) ・部会開催 6回 ・「中央区の森環境ふれあい村構想」の推進 (数馬地区案内板の設置、木材資源の有効活用、檜原村との交流促進)	中央区の森環境ふれあい村推進協議会の開催 ・協議会開催 1回 (檜原村) ・部会開催 4回 (1回目は協議会と同時開催) ・「中央区の森環境ふれあい村構想」の推進 (花の見える森づくり検討、木材資源の有効活用、檜原村との交流促進)	中央区の森環境ふれあい村推進協議会の開催 ・協議会開催 1回 (檜原村) ・部会開催 4回 (1回目は協議会と同時開催) ・「中央区の森環境ふれあい村構想」の推進 (花の見える森づくり検討、木材資源の有効活用、檜原村との交流促進)	計 画 外	
23	「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備	公園・児童遊園の老朽化したベンチの更新にあたり、中央区の森の保全活動で発生した間伐材を用いたベンチを設置する。また、江戸バス停留所においても間伐材の待合ベンチを設置する。 (水とみどりの課 公園河川係)			○	・築地川亀井橋公園 ベンチ5基 ・佃公園 ベンチ5基	・あかつき公園 かまどベンチ2基 ・堀留児童公園 ベンチ10基	・堀留児童公園 ベンチ8基 ・佃公園 ベンチ2基	・堀留児童公園 ベンチ5基 ・佃公園 ベンチ2基 ・晴海第一公園 ベンチ2基 ・新金橋児童遊園 ベンチ1基	計 画 外	

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況				掲載頁	基本計画	
						平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度目標(当初見込)	平成26年度見込			
24	中央区エコタウン構想の策定 平成24年度より 中央区エコタウン構想の推進	地域特性や地域課題を踏まえた地域の環境のあるべき姿を描き、具体的に環境行動を実践していくため、地域と区が協働し、区民が快適に暮らすことのできる「中央区エコタウン構想」(東京駅前地区・晴海地区)を策定する。 (環境政策課 環境計画調整係) 地球温暖化をはじめとする環境問題やエネルギー問題に対して、区民、事業者、区が一体となって地区レベルで取り組み、解決していくことを目指し、さらに、単に環境に配慮するだけでなく、地区全体の魅力や価値を高め、経済活動や様々な活動が活性化してより暮らしやすい街になるような具体的な取り組みの実践を重ねていくために策定した、「エコタウン構想」の各施策を推進する。			○	・地区のエネルギー利用実態の把握に関する調査報告書作成 ・コミュニティサイクルの導入可能性調査報告書作成 ・中央区エコタウン構想冊子の印刷 ・中央区エコタウン構想策定報告会開催 9月	低炭素なまちづくり推進のための取組み (東京駅前地区) ・環境情報センター、AEMセンター及びエコテクカンの連携による京橋環境ステーションの運営 (晴海地区) ・エコタウン構想を踏まえ、清掃工場排熱などの未利用エネルギーや太陽光などの再生可能エネルギーの積極的活用等、東京都に要望した。	低炭素なまちづくり推進のための取組み (東京駅前地区) ・開発時における最先端の省エネ技術導入等、地区の低炭素化に向けて、環境情報センターを拠点とし、エコテクカンやAEMセンターとの連携を図っていく。 (晴海地区) エコタウン構想が示す将来イメージ実現のため、下記の点について、東京都に要望するなどの取り組みを行っていく。 ・未利用エネルギーや再生可能エネルギーが活用されている低炭素なまち ・基幹的交通システム、コミュニティサイクルの導入による環境負荷の少ないまち ・運河を活かした緑豊かな親水空間ネットワークが形成されたまち	予算額【12千円】 低炭素なまちづくり推進のための取組み (東京駅前地区) ・開発時における最先端の省エネ技術導入等、地区の低炭素化に向けて、環境情報センターを拠点とし、エコテクカンやAEMセンターとの連携を図っていく。 (晴海地区) エコタウン構想が示す将来イメージ実現のため、下記の点について、東京都に要望するなどの取り組みを行っていく。 ・未利用エネルギーや再生可能エネルギーが活用されている低炭素なまち ・基幹的交通システム、コミュニティサイクルの導入による環境負荷の少ないまち ・運河を活かした緑豊かな親水空間ネットワークが形成されたまち	予算額【12千円】 低炭素なまちづくり推進のための取組み (東京駅前地区) ・開発時における最先端の省エネ技術導入等、地区の低炭素化に向けて、環境情報センターを拠点とし、エコテクカンやAEMセンターとの連携を図っていく。 (晴海地区) エコタウン構想が示す将来イメージ実現のため、下記の点について、東京都に要望するなどの取り組みを行っていく。 ・未利用エネルギーや再生可能エネルギーが活用されている低炭素なまち ・基幹的交通システム、コミュニティサイクルの導入による環境負荷の少ないまち ・運河を活かした緑豊かな親水空間ネットワークが形成されたまち	計画外	
25	事業所向け二酸化炭素排出抑制システム認証取得者への商工業融資優遇利率適用	中央区版二酸化炭素排出抑制システム認証取得事業所に対して、商工業融資における優遇利率を適用する。 (区民部商工観光課 相談融資係)		優遇利率適用 (一)	○	0件	1件	制度の周知	制度の周知	計画外		
26	環境マネジメントシステムの推進 (旧 ISO14001の推進)	区独自の環境マネジメントシステムを活用し、区が率先して事業活動における環境負荷の低減を図り、温室効果ガスの排出抑制に努めている。平成23年10月31日ISO14001有効期限満了に伴い認証返上 (環境推進課 温暖化対策推進係)		推進 (推進)	○	事業推進 実施・運用・点検・報告・見直し	事業推進 実施・運用・点検・報告・見直し ・区施設の設備運用改善による省エネルギー化に取り組むため、2施設(中央区保健所等複合施設・月島第三小学校等複合施設)をモデル施設として選び、エネルギー使用実態の把握及び課題の抽出を行い効率的で実効性のある運用マニュアルを作成した。	事業推進 実施・運用・点検・報告・見直し ・前年度作成した複合施設の運用マニュアルを活用した設備運用を行い、エネルギー使用量の削減を検証し、類似用途の施設にも活用できる管理マニュアルを整備する。	事業推進 実施・運用・点検・報告・見直し ・前年度作成した複合施設の運用マニュアルを活用した設備運用を行い、エネルギー使用量の削減を検証し、類似用途の施設にも活用できる管理マニュアルを整備する。	計画外		
27	中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画	区の事務および事業を対象として、温室効果ガス排出量を削減する。 (平成22年度改正) (環境推進課 温暖化対策推進係)		平成16年度比で3%以上の削減(1.3増) ↓ 平成21年度比で3%削減	○	平成23~27年度削減目標：平成21年度比で3%削減 実績3.3%削減	平成23~27年度削減目標：平成21年度比で3%削減 実績2.6%増加	平成23~27年度削減目標：平成21年度比で3%削減	平成23~27年度削減目標：平成21年度比で3%削減	計画外		
28	街路灯等の省エネ化(メタルハライド、LED)	消費電力の少ない道路照明器具(メタルハライドランプ、LED)を採用することにより、省エネルギー化を推進する。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)		推進 (推進)	○	・メタルハライド 整備 133基 累計 2,072基 ・LED(幅員6m以下) 整備 42基 累計 118基	・メタルハライド 整備 113基 累計 2,185基 ・LED(幅員6m以下) 整備 112基 累計 230基	・メタルハライド 整備 113基 累計 2,298基 ・LED(幅員11m以下) 整備 112基 累計 342基 (参考)街路灯の総基数 6,443基	・メタルハライド 整備 10基 累計 2,195基 ・LED(幅員11m以下) 整備 300基 累計 530基 (参考)街路灯の総基数 6,443基	計画外		
29	区営駐車場照明のLED化	区営駐車場内照明の消費電力削減による環境負荷の低減および照明器具の長寿命化による維持管理経費の削減を図るため、照明器具をLED化する。 (環境政策課 交通対策係)		推進 (推進)	○	対象駐車場及び導入器具を検討	対象駐車場及び導入器具を検討	対象駐車場及び導入器具を検討	対象駐車場及び導入器具を検討	計画外		
30	資源持ち去り防止対策	区民が安心して資源物を排出できる環境の確保およびリサイクル意識の高揚を図るため、資源物の持ち去り禁止を明確化するとともに、パトロール等の防止対策を実施する。 (中央清掃事務所 作業係)		推進 (一)	○	・警備会社によるパトロールの実施 1台/日 ・職員によるパトロールの実施 ・集積所に持ち去り禁止看板の設置 ・新聞回収袋の配布	・警備会社によるパトロールの実施 1台/日 ・職員によるパトロールの実施 ・集積所に持ち去り禁止看板の設置 ・新聞回収袋の配布	予算額【5,664千円】 ・警備会社によるパトロールの実施 1台/日 ・職員によるパトロールの実施 ・集積所に持ち去り禁止看板の設置 ・新聞回収袋の配布	予算額【5,664千円】 ・警備会社によるパトロールの実施 1台/日 ・職員によるパトロールの実施 ・集積所に持ち去り禁止看板の設置 ・新聞回収袋の配布 ※古紙にGPS端末機を設置し、持ち去り行為の撲滅対策を実施する。	計画外		
31	集団回収の支援	地域のリサイクル活動を推進するため、リサイクル活動団体に対する支援を行う。 (中央清掃事務所 清掃事業係)		推進 (登録団体数：180団体)	○	登録団体数：累計207団体	登録団体数：累計222団体	予算額【42,065千円】 登録団体数：累計225団体 (6月27日現在) 222団体	予算額【42,065千円】 登録団体数：累計230団体 (11月25日現在) 228団体	計画外		

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化 状況	推進状況				掲載 頁	基本 計画	
					平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度目標(当初見込)	平成26年度見込			
32	拠点回収 一人でも多くの区民がリサイクルに参加できるように、公共施設、小学校等、回収協力店で資源物を回収する。 ・公共施設 牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、布類 ・小学校等 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル ・回収協力店 ペットボトル (中央清掃事務所 清掃事業係)		推進 (6品目：廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル)	○	8品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル、蛍光灯、インカドリッジ	8品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル、蛍光灯、インカドリッジ	8品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル、蛍光灯、インカドリッジ ※4月から毎週土曜日に区内全小学校、銀座中学校および日本橋中学校の18か所を拠点として、小型家電の回収を開始した。 小型家電12品目 (携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルナビ、電子辞書、卓上計算機、ACアダプター、タブレット端末、ICレコーダー、USBメモリ・メモリーカード) ※27年3月～ペットボトルの店頭回収終了	8品目 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル、蛍光灯、インカドリッジ ※4月から毎週土曜日に区内全小学校、銀座中学校および日本橋中学校の18か所を拠点として、小型家電の回収を開始した。 小型家電12品目 (携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルナビ、電子辞書、卓上計算機、ACアダプター、タブレット端末、ICレコーダー、USBメモリ・メモリーカード) ※27年3月～ペットボトルの店頭回収終了	○		
33	集積所回収 資源物を集積所で回収し資源化することにより、ごみの減量およびリサイクルを進め、最終処分場の延命と資源の有効活用を図る。 (中央清掃事務所 清掃事業係)		推進 (6品目) びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、ペットボトル	○	9品目 ペットボトルのさらなるリサイクルを推進するため、ペットボトルの圧縮、梱包など中間処理を行った。	9品目 びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、ペットボトル、金属製なべ・やかん・フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・ケツコンロ用ガスボンベ	9品目 びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、ペットボトル、金属製なべ・やかん・フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・ケツコンロ用ガスボンベ	9品目 びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、ペットボトル、金属製なべ・やかん・フライパン、プラスチック製容器包装、スプレー缶・ケツコンロ用ガスボンベ	○		
34	土のリサイクル 廃棄物として取り扱えない「園芸用の土」を毎週土曜日に学校を拠点とした回収を行い、リサイクルを推進する。 (環境推進課 環境活動係)			○	回収量 10,150kg 再生量 9,830kg	回収量 10,220kg 再生量 9,850kg	回収量 12,000kg 再生量 10,000kg (6月1日現在) 回収量 3,660kg 再生量 0kg	回収量 15,000kg 再生量 12,000kg (11月11日現在) 回収量 11,060kg 再生量 6,755kg	○		
35	総合環境講座の開催 環境問題に対する理解を深めるとともに、地域において環境活動に取り組む人材を育成するため、環境学習講座の充実を図る。 (環境推進課 環境活動係)		推進 (推進)	○	開催 2回 59人参加 内容 総合環境講座 家庭向け(春)・事業所向け(秋) 各8回実施	開催 2回 48人参加 内容 総合環境講座 家庭向け(春)・事業所向け(秋) 環境情報センターで各8回実施	※予算は、環境情報センターの管理運営業務委託の一部に組み込まれている。 開催 2回 60人(定員) 内容 総合環境講座 家庭向け(春) 31人参加 事業所向け(秋) 30人参加 環境情報センターで各8回実施	※予算は、環境情報センターの管理運営業務委託の一部に組み込まれている。 開催 2回 48人参加 内容 総合環境講座 ①家庭向け(春) 全8回 31人参加 ②事業所向け(秋) 各4回 31人参加 ・環境・CSRコース 13人参加 ・省エネ対策コース 4人参加	○		
36	コミュニティバス等の運行 地域内・地域間を結ぶ公共交通を補完し、区内交通不便エリアの解消と公共施設の利便性向上を図るため、コミュニティバスを運行する。 (環境政策課 庶務係)			○	(7月14日ルート変更・ダイヤ改正) 運行 乗車人数 481,775人 1日平均 1,324人	運行 乗車人数 484,299人 1日平均 1,330人	予算額【91,783千円】 運行 乗車人数 494,469人 1日平均 1,358人	予算額【91,783千円】 運行 乗車人数 503,187人 1日平均 1,382人	○		
小計	36事業			33事業							

2 都市環境 ー環境負荷の少ないまちをつくりますー

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況				掲載頁	基本計画				
					平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度目標(当初見込)	平成26年度見込						
1	空地および区の施設の緑化推進	区内の空地、公共施設の屋上や壁面の緑化、芝生化などを積極的に進める。 (水とみどりの課 緑化推進係)	31施設 (20施設) 内訳) 屋上 19施設 壁面 1施設	○	屋上 2施設 屋上累計 25施設 壁面 - 壁面累計 11施設 計 36施設 屋上緑化 2施設整備	116.1%	屋上 - 屋上累計 25施設 壁面 - 壁面累計 11施設 計 36施設	116.1%	屋上 - 屋上累計 25施設 壁面 - 壁面累計 11施設 計 36施設	116.1%	屋上 2施設 (十思スクエア別館、明正小学校) 屋上累計 27施設 壁面 2施設 (十思スクエア別館、明正小学校) 壁面累計 13施設 計 40施設	129.0%	32頁	○
2	緑化助成制度	区民・事業者の屋上緑化・壁面緑化等に対する助成を推進する。 (水とみどりの課 緑化推進係)	推進 (推進)	○	・地上部等緑化 4件 203㎡ ・屋上等緑化 7件 785㎡ ・保護育成費助成 2件		・地上部等緑化 9件 157㎡ ・屋上等緑化 8件 354㎡ ・保護育成費助成 4件		予算額【12,000千円】 ・地上部緑化 10件 ・屋上等緑化 10件 ・保護育成費助成 5件 (6月18日現在) ・地上部等緑化 2件 18㎡ ・屋上等緑化 1件 8㎡ ・保護育成費助成 1件		予算額【12,000千円】 ・地上部緑化 15件 ・屋上等緑化 10件 ・保護育成費助成 5件 (11月13日現在) ・地上部等緑化 13件 263㎡ ・屋上等緑化 4件 56㎡ ・保護育成費助成 4件		32頁	○
3	苗木即売会	緑化意識の高揚を図るために苗木即売会を開催し、緑の相談コーナーを設置するとともに、ベランダ緑化のモデルケース展示を行う。 (水とみどりの課 緑化推進係)	推進 (推進)	○	春2回(6月) ・6月1日実施 月島第一児童公園 ・6月3日実施 あかつき公園 秋2回(10月) ・10月12日実施 浜町公園 ・10月13日実施 月島第一児童公園 計4回		春2回(5月) ・5月24日実施 あかつき公園 ・5月25日実施 月島第一児童公園 秋2回(10月) ・10月18日実施 浜町公園 ・10月19日実施 月島第一児童公園 計4回		予算額【75千円】 春2回(5月) ・5月16日実施 あかつき公園 ・5月17日実施 月島第一児童公園 秋2回(10月) ・10月17日実施予定 浜町公園 ・10月18日実施予定 月島第一児童公園 計4回		予算額【75千円】 春2回(5月) ・5月16日実施 あかつき公園 ・5月17日実施 月島第一児童公園 秋2回(10月) ・10月17日実施 浜町公園 ・10月18日実施 月島第一児童公園 計4回		計画外	
4	遮熱性舗装道路の整備	舗装路面の温度の上昇を抑制し、蓄熱量を低減するために遮熱性舗装を推進する。 対象：総幅員22m以上で低騒音舗装になっている道路 (道路課 まちなみ整備係)	127,390㎡ (7,590㎡)	○	整備面積 4,671㎡ 整備面積累計 42,107㎡ 整備率 33.1%		整備面積 6,195㎡ 整備面積累計 48,302㎡ 整備率 37.9%		予算額【16,368千円】 整備面積 1,760㎡ 整備面積累計 50,062㎡ 整備率 39.3%		予算額【16,368千円】 整備面積 1,630㎡ 整備面積累計 49,932㎡ 整備率 39.2%		33頁	○
5	路面温度表示板設置	遮熱性舗装の効果を区民や来街者に知ってもらうため、太陽光パネルを用いた路面温度表示板を設置する。 (道路課 まちなみ整備係)		○	- 累計 1基		- 累計 1基		- 累計 1基		- 累計 1基		計画外	
6	建物の排熱抑制、断熱処理等の促進	建物の新築時に環境計画書の提出を求め、排熱の少ない構造や機器の導入、屋上や壁面の断熱処理等を促進する。 (環境推進課 温暖化対策推進係)	推進 (推進)	○	市街地開発事業指導要綱に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導した。		市街地開発事業指導要綱に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導した。		市街地開発事業指導要綱に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導する。		市街地開発事業指導要綱に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導する。		33頁	
7-1	風の道づくり (八重洲通り・晴海通り・日本橋川)	道路の緑化 街路樹の充実や中央分離帯の緑化を東京都と連携して推進する。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)	推進 (推進)		- 累計 中木 60本		- 累計 中木 60本		- 累計 中木 60本		- 累計 中木 60本			
7-2	護岸の緑化 日本橋川の護岸の緑化を進める。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)	護岸の緑化 日本橋川の護岸の緑化を進める。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)	推進 (推進)		※東京都による整備事業 整備延長 80m 累計 604m		※東京都による整備事業 整備延長 - 累計 604m		※東京都による整備事業 整備延長 40m 累計 644m		※東京都による整備事業 整備延長 40m 累計 644m			
7-3	建築物の配置等の配慮 再開発等において、風の流れを遮断することのないように配慮する。 (都市整備部地域整備課 まちづくり推進主査)	建築物の配置等の配慮 再開発等において、風の流れを遮断することのないように配慮する。 (都市整備部地域整備課 まちづくり推進主査)	推進 (推進)	○	再開発事業及びその他の開発を含めた開発間での調整を行うとともに、各地区に定められている地区計画により、建物の壁面を後退させ、空間確保を図った。		再開発事業及びその他の開発を含めた開発間での調整を行うとともに、各地区に定められている地区計画により、建物の壁面を後退させ、空間確保を図った。		再開発等において、建物の配置計画の検討にあたり、空間の確保を図るよう配慮するとともに、個別建替えにおいては地区計画で定められた建物の壁面後退により空間を確保する。		再開発等において、建物の配置計画の検討にあたり、空間の確保を図るよう配慮するとともに、個別建替えにおいては地区計画で定められた建物の壁面後退により空間を確保する。		32頁	
7-4	高速道路の撤去 日本橋川上空に架かっている高速道路の撤去の可能性を検討する。 (都市整備部地域整備課 まちづくり推進主査)	高速道路の撤去 日本橋川上空に架かっている高速道路の撤去の可能性を検討する。 (都市整備部地域整備課 まちづくり推進主査)	推進 (推進)		日本橋再生推進協議会を通じ地元と一体となった取組みを継続し、日本橋川河岸街区のオープンスペース化等、モデル地区を拡大しながら課題検討やシミュレーションを行い、都市計画の考え方の整理を行った。		日本橋再生推進協議会を通じて地元と一体となった取組みを継続し、日本橋川河岸街区のオープンスペース化等、モデル地区におけるシミュレーションや事業検討を通じ、実現可能な事業方策の検討を行った。		日本橋再生推進協議会を通じて地元と一体となった取組みを継続し、日本橋川河岸街区のオープンスペース化等、モデル地区におけるシミュレーションや事業検討を通じ、実現可能な事業方策の検討を行う。		日本橋再生推進協議会を通じて地元と一体となった取組みを継続し、日本橋川河岸街区のオープンスペース化等、モデル地区におけるシミュレーションや事業検討を通じ、実現可能な事業方策の検討を行う。			
8	車道透水性舗装の導入	区道等の整備、補修にあわせて車道透水性舗装を導入する。 対象：京橋・日本橋地区の幅員5.45m未満の道路 総面積 約51,700㎡ (道路課 まちなみ整備係)	11,630㎡ (1,630㎡)	○	整備面積 452㎡ 整備面積累計 4,223㎡ 整備率 36.3%		整備面積 263㎡ 整備面積累計 4,486㎡ 整備率 38.6%		予算額【23,284千円】 整備面積 590㎡ 整備面積累計 5,076㎡ 整備率 43.6%		予算額【23,284千円】 整備面積 509㎡ 整備面積累計 4,995㎡ 整備率 42.9%		22頁	○

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化 状況	推進状況				掲載 頁	基本 計画
						平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度目標(当初見込)	平成26年度見込		
9	街角広場の整備	地域のランドマークとして、明るさや美しさに配慮した街角広場を増やす。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)		27か所 (7か所)	○	整備 1か所 (中洲橋北西) 整備箇所累計 14か所 51.9%	整備 1か所 (旧紺屋橋) 整備予定箇所 15か所 55.6%	予算額【6,165千円】 整備 2か所 (新京橋、鞍掛橋緑地帯) 整備予定箇所 17か所 63.0%	予算額【6,165千円】 整備 2か所 (新京橋、鞍掛橋緑地帯) 整備予定箇所 17か所 63.0%	23頁	○
10	緑道の整備	区民が散策路として楽しめるよう、河川や運河沿いの通路等を快適でうおいのある緑道にする。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)		整備延長 1,650m	○	整備延長 - 累計 835m 整備面積 - 累計 6,589㎡ 整備率 50.6%	整備延長 - 累計 835m 整備面積 - 累計 6,589㎡ 整備率 50.6%	整備延長 - 累計 835m 整備面積 - 累計 6,589㎡ 整備率 50.6%	整備延長 - 累計 835m 整備面積 - 累計 6,589㎡ 整備率 50.6%	23頁	○
11	古木を生かした景観の整備	区内の古木や由緒ある木を中心に「花と緑の名所づくり」を進め、文化・歴史と調和した景観を整備する。 (水とみどりの課 緑化推進係)		(推進)	○	推進	推進	推進	推進	23頁	
小計	11事業										

3 生活環境 —健康で快適に暮らせるまちをつくります—

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェ クト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化 状況	推進状況				掲載 頁	基本 計画	
					平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度目標(当初見込)	平成26年度見込			
1	駐輪場の整備	環境負荷の少ない自転車利用を促進するために、駅周辺の整備時や百貨店等の大型集客施設の建て替え等において、駐輪場を設置する。 (環境政策課 交通対策係)	23か所 (15か所)	○	—	駐輪場整備箇所の調査検討 整備箇所累計 19か所 82.6% (人形町駐輪場の10年償還2回目分を計上)	駐輪場整備箇所の調査検討 整備箇所累計 19か所 82.6% (人形町駐輪場の10年償還3回目分を計上)	予算額【38,469千円】 東京駅周辺11か所に民設民営による有料駐輪場を整備する。 ※収容台数 約500台以上 (電源設備及び歩道拡幅工事費等を計上)	予算額【38,469千円】 東京駅周辺11か所に民設民営による有料駐輪場を整備する。 ※収容台数 500台程度 (電源設備及び歩道拡幅工事費等を計上)	24頁	○
2	低騒音舗装道路の整備	自動車交通の騒音を抑制するため、道路の低騒音舗装を進める。 対象：幅員15m以上の道路 (道路課 まちなみ整備係)	117,640㎡ (11,140㎡)	○	整備面積 7,720㎡ 累計 50,370㎡ 整備率 42.8%	整備面積 2,711㎡ 累計 53,081㎡ 整備率 45.1%	予算費【20,034千円】 整備面積 1,590㎡ 累計 54,671㎡ 整備率 46.5%	予算費【20,034千円】 整備面積 (11月28日現在)1,626㎡ 累計 54,707㎡ 整備率 46.5%	24頁	○	
3	大気汚染・有害物質対策の推進	区民の健康を守るために、大気や土壌等の有害物質に対する調査・対策を強化していく。 (環境政策課 環境計画調整係)	推進 (推進)	○	大気中アスベスト調査 3か所 大気中ダイオキシン類調査 1か所 土壌中ダイオキシン類調査 5か所 大気中揮発性有機化合物調査 1か所	大気中アスベスト調査 3か所 大気中ダイオキシン類調査 1か所 土壌中ダイオキシン類調査 5か所	予算額【1,875千円】 大気中アスベスト調査 3か所 大気中ダイオキシン類調査 1か所 土壌中ダイオキシン類調査 5か所 大気中揮発性有機化合物調査 1か所	予算額【1,875千円】 大気中アスベスト調査 3か所 大気中ダイオキシン類調査 1か所 土壌中ダイオキシン類調査 4か所 大気中揮発性有機化合物調査 1か所	24頁		
4	新交通システム導入	CO2の排出が少ない公共交通機関導入について、東京都と連携して検討を進める。 (環境政策課 土木計画調整係)	検討	○	・6月に「中央区総合交通計画」を策定 ・「基幹的交通システム部会」で「基幹的交通システム導入に向けた検討」 第1回 9月4日 第2回 11月1日 第3回 1月22日 第4回 3月27日 ・「基幹的交通システム導入に向けた基本的考え方」をとりまとめた。	・周辺交通への影響検討 ・定時性・速達性確保の検討 ・荷捌きへの影響検討 ・運行事業者の選定に係る募集要件等の検討 ・道路管理者・交通管理者・地元等関係者との協議 ・隣接区(港区・江東区)との協議	・BRT(バス高速輸送システム)運行事業者の募集、選定 ・道路管理者、交通管理者、地元等関係者との協議 ※地下鉄計画検討調査 予算額【10,000千円】 増加する交通需要への対応や交通弱者等の移動支援など、都市交通の課題解決に向けて、地下鉄新規路線の導入に関する検討調査を行い、関係機関に働きかける。	・BRTの運行について、東京都が事業化することとなり、東京都と連携して事業計画を策定中である。 ※地下鉄計画検討調査 予算額【10,000千円】 増加する交通需要への対応や交通弱者等の移動支援など、都市交通の課題解決に向けて、地下鉄新規路線の導入に関する検討調査を行い、関係機関に働きかける。	25頁	○	
5	自転車利用の促進	快適な自転車の利用に向けて、専用レーンの整備などを検討する。 (環境政策課 環境計画調整係)		○	・平成24年6月に「中央区自転車利用のあり方」を策定 ・コミュニティサイクル導入検討調査	・コミュニティサイクル導入検討	・コミュニティサイクル導入検討	・コミュニティサイクル導入検討	25頁		
6	エコドライブの促進	アイドリング・ストップや急発進・急加速の防止等、省エネルギーでCO2の排出の少ない運転を促進する。 (環境推進課 温暖化対策推進係)	推進 (推進)	○	・区内事業者に周知用パンフレット送付 904件 ・懸垂幕の掲出(11月～2月)3か所	・区内事業者に周知用パンフレット送付 838件 ・懸垂幕の掲出(11月～2月)3か所	・区内事業者に周知用パンフレット送付 838件 ・懸垂幕の掲出(11月～2月)3か所	・区内事業者に周知用パンフレット送付 865件 ・懸垂幕の掲出(11月～2月)3か所	24頁		
7	低公害車の普及促進	電気自動車を導入するとともに、急速充電器の整備を進め、低公害車の普及を促進する。 (環境推進課 温暖化対策推進係)	継続 (継続)	○	・電気自動車・プラグインハイブリッド自動車 *購入費助成(50万円：システム認証60万円) 4件 *購入者に対する軽自動車税の免除 22件 *電気自動車の導入 1台 *清掃事務所に業務用充電設備を整備 *電気エコ(急速充電)スタンド利用実績(区内3カ所計) 6,983回 ・区役所附属駐車場 ・浜町公園地下駐車場 ・月島駐車場	・電気自動車・プラグインハイブリッド自動車 *購入費助成(25万円：システム認証30万円) 0件 *購入者に対する軽自動車税の免除 14件 *電気エコ(急速充電)スタンド利用実績(区内3カ所計) 8,108回 ・区役所附属駐車場 ・浜町公園地下駐車場 ・月島駐車場	・低公害車の普及促進 予算額【2,028千円】 *電気エコ(急速充電)スタンド利用実績(区内3カ所計)(6月末現在) 1,871回 ・区役所附属駐車場 ・浜町公園地下駐車場 ・月島駐車場	・低公害車の普及促進 予算額【2,028千円】 *電気エコ(急速充電)スタンド利用実績(区内3カ所計)(10月末現在) 4,729回 ・区役所附属駐車場 ・浜町公園地下駐車場 ・月島駐車場	24頁		
		天然ガス自動車(CNG車等)、ハイブリッド車、電気自動車等の低公害車利用者の区営駐車場使用料を優遇する。 (環境政策課 交通対策係)			電気自動車 区営駐車場割引 1万円 12件 低公害車(電気自動車を除く) 区営駐車場割引 6千円 1,801件	電気自動車 区営駐車場割引 1万円 12件 低公害車(電気自動車を除く) 区営駐車場割引 6千円 2,025件	(6月末現在) 電気自動車 区営駐車場割引 1万円 2件 低公害車(電気自動車を除く) 区営駐車場割引 6千円 509件	(10月末現在) 電気自動車 区営駐車場割引 1万円 7件 低公害車(電気自動車を除く) 区営駐車場割引 6千円 1,194件			

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化 状況	推進状況				掲載 頁	基本 計画
						平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度目標(当初見込)	平成26年度見込		
8	地域美化活動への区民・事業者の参加促進	クリーンデーやまちかどクリーンデーなどの地域美化活動への区民・事業者の参加を促進する。 (環境推進課 環境活動係)		・クリーンデー 参加団体数 309団体(259団体) ・まちかどクリーンデー 参加登録数 220件(120件)	○	・クリーンデー(5月27日実施) 参加団体数 281団体 参加率 90.9% ・まちかどクリーンデー 参加登録数 193件 登録率 87.7%	・クリーンデー(5月26日実施) 参加団体数 260団体 参加率 84.1% ・まちかどクリーンデー 参加登録数 213件 登録率 96.8%	予算額【4,549千円】 ・クリーンデー(5月25日実施) 参加団体数 252団体 参加率 81.6% ・まちかどクリーンデー(6月30日現在) 参加登録数 215件 登録率 97.7%	予算額【4,188千円】 ・クリーンデー(5月25日実施) 参加団体数 252団体 参加率 81.6% ・まちかどクリーンデー(11月11日現在) 参加登録数 222件 登録率100.9%	25頁	○
9	街頭パトロール・街頭キャンペーンの実施	歩きタバコ・ポイ捨て・アイドリングや資源持ち去りなどの迷惑行為を防止するため、街頭パトロール等を実施する。 (環境推進課 環境活動係)		パトロール等 歩きタバコ・ポイ捨て防止	○	パトロール 14人 延べ日数 1,943日	パトロール 14人 延べ日数 1,943日	予算額【40,687千円】 パトロール 14人 延べ日数 1,943日	予算額【37,086千円】 パトロール 14人 延べ日数 1,943日	25頁	○
小計	9事業				9事業						

4 自然環境 —水辺や緑に囲まれたまちをつくります—

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェ クト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化 状況	推進状況				掲 載 頁	基 本 計 画
					平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度目標(当初見込)	平成26年度見込		
1	公園・児童遊園の整備	再開発や公共施設の再編により、自然環境に配慮した、公園・児童遊園を整備する。 (水とみどりの課 公園河川係)	公園 53園(51園) 児童公園 38園(37園)	○	公園 54園 整備率 101.9% (晴海臨海公園新設) 児童遊園 33園 整備率 86.8% (新島橋北西・新島橋南西、勝どき 五丁目児童遊園廃止)	公園 53園 整備率 100% (湊公園廃止) 児童遊園 33園 整備率 86.8%	公園 53園 整備率 100% 児童遊園 33園 整備率 86.8%	公園 54園 整備率 101.9% (本石町公園新設) 児童遊園 33園 整備率 86.8%	26頁	○
2	街路樹の整備	花や紅葉が美しい木、実がなる木など区民に親しまれる街路樹を増やす。 歩道の新設や拡幅の際には、街路樹間に中木・低木を植栽するなど積極的に植樹し、街路樹の多層化・連続化等により緑豊かな歩行空間の整備を行う。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)	7,195本 (6,417本)	○	整備 整備累計 31本 6,699本 93.1%	整備 整備累計 70本 6,769本 94.1%	整備 整備累計 30本 6,799本 94.5%	整備 整備累計 36本 6,805本 94.6%	26頁	○
3	河川の水質浄化	水のきれいな川にするため、東京都や流域の自治体、区民・事業者との連携を図り、地下水の河川への放流など、具体的な水質浄化対策について研究する。 (環境政策課 環境計画調整係)		○	浄化方法の研究	浄化方法の研究	浄化方法の研究	浄化方法の研究	27頁	
4	朝潮運河護岸環境整備の推進	東京都の護岸整備にあわせて、親水性や水生生物等に配慮した憩いの場として整備する。 (水とみどりの課 公園河川係)	整備延長 2,810m (一)	○	晴海三丁目黎明橋公園北側 - 累計 294m 整備率 10.5% ※東京都による耐震護岸工事 ・月島2丁目地盤改良 (延長約150m)	晴海三丁目黎明橋公園北側 新規整備 104m 累計 398m 整備率 14.2% ※東京都による耐震護岸工事 ・月島2丁目地盤改良 (延長約170m)	朝潮運河護岸上部(月島側)(基本設計) ※東京都による耐震護岸工事 ・月島4丁目地盤改良 (延長約290m) ・晴海1丁目地盤改良 (延長約300m)	朝潮運河護岸上部(月島二丁目)(基本設計) ※東京都による耐震護岸工事 ・月島4丁目地盤改良 (延長約95m)	27頁	○
5	水の都プロジェクトの推進	水辺の持つ魅力を引き出したにぎわいの場を創出するため、「中央区水辺利用の活性化に関する方策(平成18年4月策定)」に基づき、地域性や歴史性を踏まえながら、快適でうらおいのある水辺環境の整備、さらにはにぎわいの場としての活用により居住者にも来訪者にも魅力的な水辺空間とするため「水の都プロジェクト」を推進する。 (水とみどりの課 道路緑化施設係・公園河川係)		○	—	・月島三丁目児童遊園 隅田川バリアフリース ロープ設置等 改修面積1,563㎡ ・石川島公園 108㎡拡張	予算額【15,061千円】 ・亀島川護岸上部(湊側)(詳細設計) ・朝潮運河護岸上部(月島側)(基本設計)	予算額【15,061千円】 ・亀島川護岸上部(湊側)(詳細設計) ・朝潮運河護岸上部(月島側)(基本設計)	計 画 外	
6	花と緑の見所づくり	「花の都中央区宣言」がめざす花と緑に包まれたまちを実現するため、改定した「中央区緑の基本計画」に基づき公園や道路、緑道などに花や緑の見所をつくる。 (水とみどりの課 公園河川係)	推進 (推進)	○	—	—	「水とみどりのふれあいマップ」により、区内の街路樹、公園、河川などの散策コースを紹介し、自然への理解を深めてもらう。	「水とみどりのふれあいマップ」により、区内の街路樹、公園、河川などの散策コースを紹介し、自然への理解を深めてもらう。	計 画 外	
7	中央会館「銀座プロッサム」屋上緑化を活用した指定管理者と「銀座ミツバチプロジェクト」との協働	中央会館「銀座プロッサム」屋上緑化設備を活用し、指定管理者と特定非営利活動法人銀座ミツバチプロジェクトが、ミツバチの蜜源となる草花の維持管理を協働で実施する。 (区民部地域振興課 協働推進主査)	推進 (一)	○	屋上緑化設備の活用 ・草花、農作物の苗植、育成 ・障害のある方々の活動の場として提供 (障害者就労促進センター さわやかワーク中央) ・区民、在勤者を対象とした農園教室の開催 (銀座ミツバチプロジェクト)	屋上緑化設備の活用 ・草花、農作物の苗植、育成 ・障害のある方々の活動の場として提供 (障害者就労促進センター さわやかワーク中央) ・区民、在勤者を対象に屋上農園について学習する機会を提供 (銀座ミツバチプロジェクト)	屋上緑化設備の活用 ・草花、農作物の苗植、育成 ・障害のある方々の活動の場として提供 (障害者就労促進センター さわやかワーク中央) ・区民、在勤者を対象に屋上農園について学習する機会を提供 (銀座ミツバチプロジェクト)	屋上緑化設備の活用 ・草花、農作物の苗植、育成 ・障害のある方々の活動の場として提供 (障害者就労促進センター さわやかワーク中央) ・区民、在勤者を対象に屋上農園について学習する機会を提供 (銀座ミツバチプロジェクト)	計 画 外	
小計	7事業			7事業						

5 地域の環 ー区民・事業者・区が協働して、楽しみながら環境活動を実践しているまちをつくりますー

	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェ クト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化 状況	推進状況				掲 載 頁	基 本 計 画
						平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度目標(当初見込)	平成26年度見込		
1	環境活動への応援	区民や事業者が提案する優れた環境プロジェクトなどを応援し、取り組み意欲を高める仕組みをつくる。 (水とみどりの課 緑化推進係)		推進 (一)	○	推進	推進	推進	推進	28頁	
2	区民・事業者・区の連携による環境活動	・環境区民会議の設立 区民、事業者、NPO等に参加を呼びかけ、自主的・自発的な環境活動を促進する。 (環境政策課 環境計画調整係)	◎	設立 平成20年度 (一)	○	開催 1回 登録数 69件 ・中央区環境区民会議の運営に関するアンケート実施 8月31日～9月12日 対象数 67 回答数 8 (個人3・事業者2・団体3) ・環境区民会議 3月27日開催 参加者 18人 (個人8人・団体4人・事業者6人)	登録数 62件 ・環境情報センターを活用した会議の運営方法を検討した。	登録数 62件 ・環境情報センターを活用した会議の運営方法を検討する。	登録数 62件 ・環境情報センターを活用した会議の運営方法を検討する。	34頁	
3	エコポイント制度導入の検討	買い物やレジ袋を断ることにより得たポイントを、「中央区の森寄附金」等の環境活動に使える「エコポイント」制度を検討する。 (区民部商工観光課 商工観光係) ※エコポイント 省エネルギー性能の高いエアコン・冷蔵庫・地上デジタル放送対応テレビの購入や、エコ住宅の新築・エコリフォームをした者に対して一定のエコポイントを付与し、これを使ってエコ商品等を購入できるようにするという制度。			○	環境省が推進する全国版「エコアクションポイント」制度を活用し、区が実施する環境事業にポイント付与を行った。	環境省が推進する全国版「エコアクションポイント」制度を活用し、区が実施する環境事業にポイント付与を行った。	環境省が推進する全国版「エコアクションポイント」制度を活用し、区が実施する環境事業にポイント付与を行う。	環境省が推進する全国版「エコアクションポイント」制度を活用し、区が実施する環境事業にポイント付与を行う。	29頁	
4	環境情報施設の整備	環境に関する様々な情報の提供や環境活動の場と機会の提供に対応するため環境情報施設を整備する。 (環境推進課 環境活動係)		1か所 (一)	○	開設準備として主に以下の業務を行った。 ・内装用(施設内壁・天井の一部)間伐材購入(681,450円) (檜原村産杉材60mm×60mm×302m) ・移動式間仕切り(展示情報コーナーと研修室)購入(2,000,000円) ・建物維持管理費(4月分)支出(782,405円) ・条例・規則の整備	6月2日開設 ※管理運営業務受託者 株式会社小学館集英社プロダクション 環境活動団体の活動内容を紹介、展示するとともに、団体の交流を促進する。 ・来館者数 15,042人 ・環境活動登録団体 20団体	※管理運営業務受託者 株式会社小学館集英社プロダクション 環境活動団体の活動内容を紹介、展示するとともに、団体の交流を促進する。 ・来館者数 5,835人(4月から6月末現在) 目標 23,000人 ・環境活動登録団体 24団体 (25年6月から26年6月末現在累計)	※管理運営業務受託者 株式会社小学館集英社プロダクション 環境活動団体の活動内容を紹介、展示するとともに、団体の交流を促進する。 ・来館者数 16,206人(4月から11月末現在) 目標 23,000人 ・環境活動登録団体 29団体 (25年6月から26年11月末現在累計) ・中央エコキッズ 80人 (7月から12月末現在)	29頁	
5	環境経営認証取得費助成	区内の中小企業が環境に配慮した経営に関する認証(エコアクション21、エコステージ、グリーンプリンティング、グリーン経営認証など)を新たに取得した場合に、その経費の一部を助成する。 (環境推進課 温暖化対策推進係)			○	・助成決定件数 2件 196,000円	・助成決定件数 1件 78,000円	・助成決定件数 5件 600,000円	・助成決定件数 0件 0円	計画外	
6	エコ・アクションポイント導入	環境省が推進している全国型のエコ・アクションポイントに参画。本区の実施する環境事業への参加者にポイントを付与する。 (環境推進課 温暖化対策推進係) ※エコ・アクションポイント 環境省が推進しているエコ・ポイント事業 区が実施する環境活動に参加したり、企業が指定する商品を購入するとポイントを獲得でき、商品等に交換できる制度。			○	エコ・アクション・ポイントの運用 ・付与実績 651件 162,200ポイント (採番数 738件 170,600ポイント)	エコ・アクション・ポイントの運用 ・付与実績 452件 75,600ポイント (採番数 518件 82,200ポイント)	エコ・アクション・ポイントの運用 (採番数 690件 136,500ポイント) (6月10日現在) 付与数 52件 6,100ポイント (採番数 57件 6,600ポイント)	エコ・アクション・ポイントの運用 (採番数 431件 65,400ポイント) (10月31日現在) 付与数 215件 35,700ポイント (採番数 250件 39,200ポイント)	計画外	
7	緑化ボランティア	区民および事業者との協働による緑化活動を推進する。 (水とみどりの課 緑化推進係) ※緑のアダプト活動 区の管理する公園・児童遊園・緑地帯等で草花の植え替え、手入れ、除草等の補助活動を行う。			○	ボランティア参加 695人	ボランティア参加 684人	ボランティア参加 700人 (6月18日現在) 684人	ボランティア参加 740人 (10月29日現在) 739人 ※緑化表彰制度発足・開始 個人 3人 団体 3件	計画外	
小計	7事業				7事業						